

2025 資料室企画展

# 震災と火

長田 \_ 火災の様子 資料 No. 0000529-003001-001、00005

阪神・淡路大震災では、「火」が人びとの記憶に深く刻まれました。  
火は街を焼き尽くす恐怖の象徴であると同時に、寒さの中で人びとを温め、希望を灯す存在でもありました。

過去の記憶を未来へつなぐために、どうぞ足を止め、火が伝える姿をご覧ください。

会期：2025（令和6）年12月16日（火）

～2026（令和7）年5月24日（日）

会場：人と防災未来センター 西館5階資料室

本展示では三つの視点から、震災と火の関係を多面的に見つめ直します。

## 恐れ

火が街を焼き尽くし、いつもの風景を一変させた。熱で溶けた金属やガラスが、その恐怖と猛威を物語る。



長田方面（火災状況）

資料 No.0000221-001001-007.00004



炊き出し用大釜セット 資料 No.0000515-001001

## 安らぎ

炊き出しの暖かい料理がこわばった心をほぐした。火のそばで、人は寄り添い、温もりを分け合った。

## 祈り

灯された火には、失われた命への祈りが込められている。希望の灯が、未来を照らし続ける。



1・17 希望の灯りの点の部分

資料 No.3300206-001006-004.00001

### ●震災資料をお持ちの方へ

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな？」と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃいます。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方など、悩んだ際には、ぜひ一度、資料室までご相談ください。

### ●お問合せ

人と防災未来センター資料室  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2  
TEL：078-262-5058  
FAX：078-262-5062